

令和大改修 募金のご案内

1350年続く日本仏教の聖地を未来へ

～時を超え伝える弘法大師空海の真実の心～

総本山本福寺は弘法大師空海ゆかりの瀧場・代表的な七堂（五重塔・本堂・奥之院善法堂・大師堂・光明院・観音堂・百年堂）、宗務所、専修学院、売店、境内750万平方メートルの広大な大伽藍、森林樹木の環境保護補正修復を台風や豪雨や土砂崩れといった自然災害から護ってまいりました。維持管理に加え、拝観にお越しいただいた方々に対する環境整備も欠かす事はできません。これらを維持するために、多額の経費が必要になります。コロナ禍における減収によって、平成30年7月の西日本豪雨の八十八ヶ所の19番札所通称「立江地蔵」の修復や参道修理、樹木の手入れ等を先延ばししてきましたが、それでも非常に多くの管理費がかかっております。本堂にしても、もうすでに50年が経っております。今後これらの収蔵施設の改修、さらには参拝者用の通路やスロープ・トイレ・休憩所などの施設の改修、老朽化した塔頭の改修、排水路・下水路の整備それに加え令和2年以來からの新型コロナウイルスの影響により、年間の拝観者数は激減・原油高や物価の高騰。この窮地を乗り越えるために、境内の営繕など可能な部分は先延ばしにして経費の節減を計って参りましたが、このままでは寺院の持続可能な維持管理は極めて困難であると判断し、この度ご参拝の皆様へ支援の募金を決意した次第であります。皆様に募金をお願いしております。ご協力のほど、何卒よろしくお願い致します。

